

「若年層の地域定着に向けたアンケート」  
会津若松市 地域づくり課、福島県会津地方振興局

大学参加者名	協力：福島大学、会津大学、会津大学短期大学部
参加自治体	会津若松市、福島県会津地方振興局
(1)調査研究の課題・背景	<p>会津地域では、進学や就職に伴い転出する若者が多く、人口動態の中で大きな部分を占めている。今後、若者の就職先の地域として会津を選択してもらうことが、地域の発展及び高齢化や人口減少の影響を軽減するためにも必要となる。</p> <p>そこで、多くの学生が関わる会津DX日新館事業の特性を生かし、参加学生の協力を得ながら学生に寄り添った質問項目及び内容を作成し、各大学で進路選択の時期にある学生に対して、何があれば（なければ）会津地域での就職を検討するようになるのか、アンケートを実施し、その実態を調査研究することとした。</p>
(2)令和4年度調査研究活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの叩き台を、会津若松市及び会津地方振興局合同で作成。</li> <li>・令和4年11月4日福島大学構内と会津大学構内で意見交換会を開催。会津若松市及び振興局担当者が、福島大学、会津大学及び会津大学短期大学部の学生有志より、卒業後の進路、居住地選択、会津地方について思うことなどを聴取。</li> <li>・上記意見交換会出席学生からアンケート叩き台に対する学生からの意見を募集。</li> <li>・アンケートを学生の意見を反映して編集。</li> <li>・福島大学、会津大学、会津大学短期大学部にアンケートを実施（Google form使用）。</li> </ul>
(3)令和4年度時点の結果	<p>アンケート結果や意見交換等を通して、卒業後の進路、就職等についての考えを確認することができた。</p>
(4)提言または今後の展開	<p>Uターンなど地方移住を望む若年層への支援及び、ライフステージに応じて価値観や状況は変化し必要な支援も異なるため、それぞれの世代に応じた支援の在り方や情報発信等について検討する必要がある。</p>